

ひびばい

市議会だより

平成30年8月1日

44号

発行 美 唄 市 議 会
編集 市議会広報委員会

消防演習（7月8日 総合体育館）

平成30年第2回定例会は、6月12日に開会し6月22日に閉会しました。本会議では、12日の初日に例月出納検査結果報告、定期監査報告、株式会社美唄ハイテクセンターの経営状況報告等がなされました。市長からは専決処分承認案件3件と、補正予算案件2件などを含む17件が上程されました。

15日と18日の2日間で一般質問が行われ、8人の議員が市長、教育長に質問を行いました。

19日の常任委員会では、総務・文教委員会が4件、産業・厚生委員会が5件についてそれぞれ審議可決しました。

20日の予算審査特別委員会では、追加で上程された1件含む3件の補正予算案に関して、一般会計は、生活保護総務費で1億62万円、農業振興費で5億2474万5000

第2回定例会（6月12日～6月22日）終わる

☆ 平成30年度一般会計補正予算

5億3304万2千円可決

◆◆ 主な内容 ◆◆

- ◆ 一般質問
- ◆ 各委員会の報告
- ◆ 定例会審査議案
- ◆ お知らせ
- ◆ 市議会の動き
- ◆ 編集後記

円、学校管理費で200万円、排水機場管理費で467万7000円。国民健康保険会計は過年度精算金で86万4000円を審議可決しました。

21日の美唄市地域医療体制等調査特別委員会では、市民委員会の開催、旧看護宿舍の解体、陳情についてそれぞれ報告を受け調査しました。

22日の閉会日は、本会議場で各委員会から委員長報告が行われ、人事案件を含む議案18件について採択・可決。陳情第2号については継続審査となりました。本会議に上程された意見書はありませんでした。

一般質問

今定例会では、
8人の議員が一般
質問を行いました。
質問・答弁は本
人が要約したもの
を掲載しています。

みずほ議員会

楠 徹也

議員



問 水稲の生産の目安について美唄市の生産の目安は、どのような数値となったのか、また、これまでの取組と比べて算定方法がどの様に変ったのか。

答 生産の目安は、北海道農業再生協議会から各地域農業再生協議会へ直接示され、本市では、美唄市農協地域農業再生協議会、峰延農協地域農

業再生協議会、JAいわみざわ地域農業再生協議会に対し

合計値10127・5ヘクタールで前年に比べ20・9ヘクタール、割合にして0・2%の減少となった。算定の仕組みは生産数量目標の設定から、前年の主食用米作付実績を基本に、全道の生産の目安と各協議会の作付意向などを考慮して算定される。

問 いじめについて、市内小中学校のいじめの実態とその調査方法について、また、今後の抑止対策について、どうなっているのか。

答 北海道教育委員会が、いじめアンケートを、毎年実施してアンケート結果からいじめられたことがあるに回答した子供たち全員に、定期的な教育相談等を行い、いじめの早期解消に努めている。

抑止対策についてはSNSを介したいじめなど、いじめが潜在化するケースも多くあ

ることから、ネットモラルの周知徹底など取組を強化したい。

《その他の質問事項》

○主要農作物の作付状況について

○不登校について

公正クラブ

山崎 一広 議員



問 行政連携について。連携中枢都市圏構想、今日までの取組みは

答 札幌や旭川・函館が要件を満たしている。平成29年度から札幌広域圏は通勤通学を有する自治体と協議している。

問 今後近隣市町とどの様に連携していくのか

答 引き続き行政改革を推進

空知地域づくり連携会議等各種会議の情報収集に努める。

問 消防の広域連携

①今日までの経過は
②消防団あり方検討委員会について
③広域連携の今後の考え方と進むべき姿

答 ①平成18年度消防法改正、基本指針が示され、本市と岩見沢他4市5町の組み合わせが示された。

②現在9分団を4分団、定数見直し。
③広域化、平成36年4月まで示され、人口減少や高齢化の危機感から、検討していく。

問 アルテピアッツァ美唄ビジョンについて

①パブリコメでの意見は
②新美術館建設の様に考えは
③第6期総合計画との整合性

答 ①反対が3件、人材確保等が3件の計6件。
②豪雪で劣化が激しい事から安田氏と協議し決めた。

③施設の充実や情報発信に努め交流人口の増加につながるかと判断した。

問 ④市民の関心が低い、経済的に厳しい、なぜ作成するのか
⑤計画に記載されてない。どうして進めるのか

答 ④時代に続くべく文化の宝、短期・中期的に整備する必要が有ると判断した。

⑤計画で施設の充実にも努めることとしており、新たな整備が必要と判断した。

日本共産党議員団

吉岡 建二郎 議員



問 3月9日の水害について。

答 市の管理する4河川で氾濫が発生。南一の沢川の氾濫で床上浸水9軒、床下浸水5軒。十三号川の氾濫で床上床下浸水がそれぞれ1件ずつ発生。対応は重機での河川の雪の除去、土のうの設置、排水活動等を行った。発生原因は大雨、例年になく積雪、当日の気温が例年と比べて高かつ

たこと等、様々な自然要因がと重なったためと考えている。

問 南一の沢川周辺の被害が大きい。住変住民から河川への排雪が氾濫の要因であり、人災との指摘があるが。

答 降雨量と積雪、気温上昇が原因。自然災害と判断している。

問 河川への排雪は判断材料にならないのか。市の調査で2業者は排雪行為を認めている。自然災害と断定せずに改めて調査してほしい。

答 認めた業者があるのは事実。実態を立証できないため、自然災害と判断している。

問 南一の沢川の管理は市の管理責任について。

答 融雪期の管理は過去の氾濫実績に基づいている。氾濫実績のない河川のため、氾濫が予見できなかった。

問 これまでパトロールすら行っていない。予見する手立てをとっていない。トツプである市長の責任がある。

答 氾濫実績がない河川で予見できなかった。今後はこのことを教訓に、河川巡視の強化を検討する。

《その他の質問事項》

○今後の防災体制の強化について。

○サイクルツーリズムについて
○学校でのスマートフォン・携帯電話等について

無会派

森川 明 議員



問 主要農作物種子法が廃止された。民間参入で価格や外国産の独占も予想される。

道に対し条例が必要で、市の動向と問題点を伺う。

答 道の試験、認定、審査を従来通り行うことで、取組みを支持したい。現在、問題点は発生していないと思われる。

問 認知症は、高齢化により増え続け、要介護、要支援認

定者で日常生活に支障をきたす認知症の数と、施設、問題点の対応状況を伺う。

答 認知症の数は、6カ月の間で介護申請をした707名のうち412名で、施設は3カ所、市はサポーター養成講座、早期発見する訓練の実施、支援チームを設置し活動をしている。認知症の問題点は家族や周囲の理解が必要である。

問 教員の働き方改革、道教委のアクションプランの内容実践面、超勤の実態、市の改革に向けたプラン策定を伺う。

答 18年度から20年度までの3カ年で、全校種の超勤をゼロにするもので、市も内容を踏まえ作業を進めている。超勤の実態は、小学校23%、中学校47%で一週間60時間を超えており、子供と向き合う時間の確保に定時退勤等を取り組んでいる。

問 林業大学校誘致、最近家具のマチ旭川市も手を挙げた。市の優位性と、看板、広報ビラ、チラシ等々市民に対しての周知が不足していないか。

答 道に市の優位性数々を強調し要請した。市民には広報ホームページで周知に努める。

《その他の質問事項》

○運動会が午前中のみが増えている。市の実態について。

○マイナンバーカード、交付後の経過と、補助金等について。

公正クラブ

川上 美樹 議員



問 在宅医療が進み看護師の役割が益々大きくなる。スキルアップと共に、研修を受ける事で診療報酬に加算できるものもある。訪問看護も増える中、介護士との連携も不可欠と思うがどうか。

答 毎月研修会を開催。取得可能な加算については可能な限り対応中。認知症専門知識の研修を検討中。訪問看護は昨年293件。今年は更に増

え、南空知医療圏では唯一の在宅療養支援病院となった。また24時間連絡可能とした。介護士との合同研修会を開催し多職種連携を強化する。

問 働きざかりの健診率向上や健康寿命を延ばす取組に力を入れるべきと思うが。

答 40代の健診受診率は全道的に本市は低い。市内重点地域には、対象となる未受診者宅を訪問。乳がん、子宮頸がん検診は前年度未受診者と対象を拡大した。健診や予防接種の時間帯も利用しやすいように変更し健康寿命増進の為に取り組む。

問 改正中心市街地活性化法に沿った計画を策定し、本市のシャッター街等再生を。この計画は河川、道路、学校、病院への国の様々な支援措置が用意されているが検討してはどうか。

答 中心市街地活性化法による計画策定は、商工会議所、商店街組織と協議、検討する。

《その他の質問事項》

○寄贈された絵画等の文化財を地域資源として多に活用すべき。

市 議 会 だ よ り

日本共産党議員団
吉岡 文子 議員



問 美唄市空き家等の適正管理に関する条例後どのような変化があったのか、また現在把握している空き家件数、助言や指導の結果、解体、修繕に至った件数について。

答 平成26年4月1日に「美唄市空き家等の適正管理に関する条例」を施行し、また平成27年2月26日に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が施行されたことにより、放置されて管理不全な状態となつていたり又はそのおそれのある空き家に関して、固定資産税の課税情報を利用して所有者を特定して、所有者等に

必要な措置を行うように助言又は指導を行なうことができればようになった。条例施行後

市民から相談があつた78件のうち、所有者の判明した75件について、空き家を適正に管理するように文書の発送や電話、面談など助言や指導の結果、解体が15件、補修が18件で現在の空き家は370件となつてゐる。

問 最近自転車事故が頻発している。本市の児童生徒の登下校時の自転車利用について

答 それぞれの学校事情により「きまりや規定」がある。

小学校では中央小が153名中10名、茶志内小が19名中6名。中学校は申請により許可しており表を参照。

中学生自転車利用状況		
学校名	自転車通学	全校生徒
美 唄 中	140	167
峰 延 中	18	22
南 美 唄 中	24	24
東 中	191	207

無会派

本郷 幸治 議員



問 市営住宅の空家の修繕と、今後の公募予定並びに整備について。

答 現在の市営住宅の空家は201戸有り、うち半数以上の114戸は老朽化が激しく、中には修繕も困難で入居できない住宅もある。今後の公募予定については、比較的新しい住宅87戸の内、ゆたかニュータウンや有為団地などは入居希望が多く応募倍率も高いため、年4回程度の公募に合わせ入居希望者ニーズに添えてまいりたい。

また、市営住宅の整備については、コンパクトな市街地

形成の「まちなか居住の推進」に向けて計画的な建て替え事業に取り組みます。

問 公営住宅入居に際しての連帯保証人について。

答 平成29年に民法の一部改正により、国土交通省は平成30年3月30日付で通知が出され、自治体が判断することになりました。この通知を受け、市営住宅の管理条例等改正も視野にいれ、道や他市町村の取組状況などを調査検討してまいります。

問 在宅医療と介護連携推進事業の現状と課題について。

答 喫緊の課題としては、本人だけでなく家族も健康課題を抱え、介護力が不十分な方への支援が増えており、どう支援を行うのか、事例検討で支援方針を明確にして取り組んでいます。

また、関係機関同士の迅速な連携と市民と専門職の役割をこれまで以上に明確にしなから、協働して課題解決に向けて取り組んでまいります。

公正クラブ

松山 教宗 議員



問 都市計画マスタープランの一部改訂について速やかに実施されますが、茶志内の工業団地に隣接する国道12号線沿線地区の用途地域縮小により、なぜ本市にとって必要な農地の確保並びに保全へと繋がるのか。また今後の当地区の用途地域縮小に向けた取組はどのような手続きを行い、結果いつ頃完了予定なのか。

答 現状では国の農業上の多くの支援策を受けられない。用途地域の縮小と並行し農用地へ編入されると、例えば団体営の基盤整備や多面的機能支払交付金事業等取組む対

象になり優良な農地の確保・保全へと繋がる。また用途地域縮小に向けた取組は北海道との協議が必要。現在は既に調整を行っており平成32年2月に申請予定で用途地域の縮小決定は32年10月を予定。

問 新学習指導要領の柱、ICTを活用した教育課程の実施に伴い、今後AI・IT等高度情報化社会に向けICT対応教育は必須で機器環境整備が必要。具体的な取組は。

答 新学習指導要領の移行期間となる平成31年度に小学校、32年度に中学校と段階を踏み2年間で各学校に従来のPC教室のように学級全員で使えるタブレットの数、大型電子黒板のフロア毎の設置、校地内接続可能な大容量wifi環境整備を考えている。

問 スポーツコミッションの取組と今後の考え、在り方は。

答 スポーツを切り口とした取組の推進が交流人口増に繋がると期待。今後、検討中のDMOとの関係性も含め、どのような組織の在り方が望ましいのか等スポーツコミッションの基本的な方向性について本年締結したアドバイザー契約の中でまとめていきたい。

委員会の報告

常任委員会と特別委員会での質疑応答と議論の主な内容

《総務・文教委員会》

35号 美唄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正の件

問 夜間看護手当の改正後による費用は、市立美唄病院、恵風園及び恵祥園で、どのくらい見込んでいるのか。



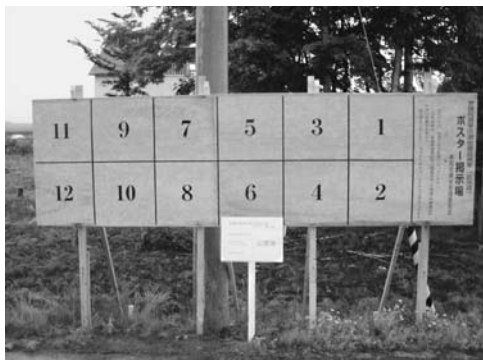
市立美唄病院夜間窓口

答 市立美唄病院の改正に伴う年間の支給額は、約87万円である。また、今回の改正については、夜間看護手当ということで、市立美唄病院の病棟に勤務する職員に対しての手当の改正であり、恵風園、恵祥園の介護業務に従事して

いる職員については、該当しない。

37号 美唄市議会議員及び美唄市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正の件

問 選挙運動用のポスターの作成の公費負担額について、企画費が減額になった理由について。



選挙ポスター掲示版

答 各市の状況を調べたところ、美唄市のポスターの作成費は、全道の市の中で一番高いことから、市内でポスターを作っている業者3社から見積もりをとり、自己負担がないうような形で基準を作ったところ、21万円が妥当という事で算定している。

38号 財産購入の件（災害対応特殊小型動力ポンプ付水槽車）

問 車両の購入にあたり、随意契約にした理由について。

答 今回の購入は、3社による指名競争入札としたが、1回目の入札において、3社とも予定価格を超えたため、2回目の入札を実施したところ、2社から辞退の申し出があったことから、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定により、随意契約をすることとした。



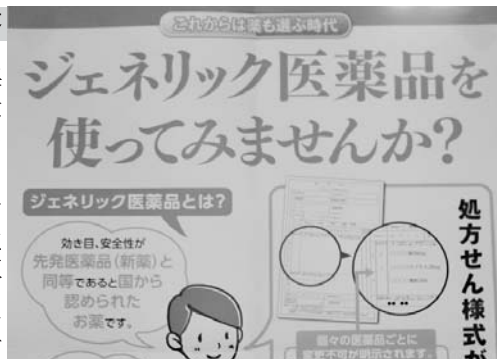
ポンプ付き水槽車

35号 質疑なし
36号 質疑なし
37号 原案可決
38号

《産業・厚生委員会》

39号 美唄市税条例の一部改正の件

問 国民健康保険支払準備基金の現状について。また、本市のジェネリック医薬品の使用率と今後の考え方について。



ジェネリック医薬品ポスター

答 基金については取り崩すことがなかったため、平成29年度末決算見込みで、320万4千2千円の残高となっている。ジェネリック医薬品の使用率については、平成29年度は72.1%となっており、これまでジェネリック医薬品の使用を促進してきたが、今後も北海道の医療費適正化計画を参考にしながら本市の保険事業を展開するほか、医師

会などとも連携し、さらに医療費の抑制に努めていきたい。

40号 美唄市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正の件

問 条例改正にあたり、「国の基準を上回る内容や異なる内容を定める特段の事情は認められないため、国の基準を採用することとした」とあるが、過去に特段の事情が認められ、国の基準を採用しなかったケースはあるのか。また、「特段の事情」とは、どのようなケースがあてはまるのか。

答 本市においては前例がないが、他市町村においては、地域密着型において、文書の保存期間を市町村の条例に合わせて延長しているなどの例があると聞いている。

42号 財産購入の件（ロータリ除雪車）

問 ロータリ除雪車の納期が、除雪シーズン終盤となる平成31年2月28日になっているが、もっと早めることはできないのか。

答 受注生産のため、製作時間も鑑みて余裕をもった納期にしているが、実際には、もっ

と早く納入できるようメーカーと協議していく。



ロータリ除雪車

41号 質疑なし

39号 原案可決

陳情1号 「美唄市立地適正化計画」に関する陳情

第1回定例会において付託されたものであり、陳情の趣旨は、美唄市立地適正化計画の策定にあたり、本市の情勢を踏まえ、地域住民の声を反映させた将来を見据えた計画とするようにとのことであり、このことについては十分理解できるほか、これまでの議会の中でも、すでに議論されていることから、願意妥当とし

て採択すべきではないか、との意見があり、陳情第1号については、採択して市長に送付すべきものとし、意見としては「願意妥当と認められるので、本市の情勢を踏まえ、美唄市立地適正化計画策定委員会をはじめとした市民の意向を考慮のうえ、将来を見据えた計画となるよう善処されたい」と決定した。

《予算審査特別委員会》
委員長 谷村 知重（みずほ議員会）
副委員長 山崎 一広（公正クラブ）

43号 平成30年度美唄市一般会計補正予算（1号）

問 「畑作生産振興事業」について、大豆乾燥調製貯蔵施設についての費用対効果について。

答 共同調製によるロットの均質化と等級比率の底上げによる、生産者の所得向上や、包装形態などのニーズへの対応が可能となり、契約栽培の比率が、向上するものと考えている。

問 大豆乾燥調製貯蔵施設の建設場所について。

答 峰延町峰樺3区、美唄市小麦集出荷調製施設の南側に建設の予定である。

問 「経営体育成交付金事業」について、法人と個人でそれぞれ何件の相談があったのか。



GPS直進補助機能付き田植え機

答 法人から2件、個人から6件の相談があり、内訳としては、美唄市農業協同組合地区から3件、峰延農業協同組合地区から4件、大富連合会地区から1件となっている。

問 「小学校教材購入事業」及び「中学校教材購入事業」について、平成29年度から、国による学校図書館図書整備等5か年計画が始まり、全国の市町村に財政措置がなされていると思うが、本市の状況

について。



学校図書室（茶志内小学校）

答 国では学校司書の配置について、1・5校に対して、1名程度の配置ということで財政措置をしており、本市においては小・中学校に、それぞれ1名ずつ巡回による学校司書を配置したいと考えていることから、今後このような有利な財源をさがし、学校司書の配置に向けての取り組みを推進していきたい。

46号 平成30年度美唄市一般会計補正予算（2号）

問 「排水機場整備事業」について、外壁が破損したとのことだが、機面面で問題が生じてはいないのか。

答 直接的な影響は出ていな

第1回定例会において付託されたもので、陳情の要旨は、建替え事業には反対ではないものの、市政報告で市長より、市民の皆さまに対し丁寧の説明し、ご意見をいただくとの発言があったことから、本委

陳情
陳情2号 市立美唄病院更新事業（建替え）計画に関する

特別委員会

《美唄市地域医療体制等調査

43・44・46号 原案可決

44号 質疑なし



上美唄排水機場

いが、今後、降雨期を迎えるにあたり、建屋内に水が流れ込む恐れがあることから、早期に破損箇所を修理することが適切であると考えている。

表1 専決処分

(千円)

承認5号 財政調整基金使用の件

趣旨 特別交付税の決定額が現計予算額を下回ったこと等により生ずる一般会計の歳入不足を補填するため、財政調整基金を使用するもの。

・使用する金額 110,000(千円)

平成28年度末現在高	平成29年度中増減見込額	平成29年度末現在高見込
756,638	213,749 減	860,387

表2 補正予算

(千円)

承認6号 平成29年度美唄市一般会計補正予算(第10号)

補正総額 110,000(千円)

歳入補正	補正前	補正額	補正後
地方交付税	1,331,298	△110,000	1,221,298
繰入金	0	110,000	110,000

表3 補正予算

(千円)

43号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第1号)

補正総額 528,365(千円)

歳入	国庫支出		810
	道支出		524,745
	その他		2,000
	一般財源		810
歳出	民生費	生活保護事務	1,620
	農林費	畑作生産振興事業	521,500
		経営体育成交付金事業	3,245
	教育費	小学校教材購入事業	1,369
		中学校教材購入事業	631

員会としても、陳情者からの意見・要望を聞くべきではないか、との意見があり、陳情第2号については、参考人として、陳情者からお話を伺

う機会を設けることを決定するとともに、さらに検討を要するので、継続審査と併せて、閉会中もなお、審査の議決を求めることと決定した。

陳情2号 継続審査
第2回定例会での審査議案
(簡単な内容説明です。委員会報告にある件は、委員会名を記載してあります。)

報告第7号 10号 例月出納検査結果報告
報告第11号 定期監査報告
報告第12号 株式会社美唄ハイクセンターの経営状況説

表 4 補正予算		(千円)
46号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第2号)		
補正総額 4, 6 7 7(千円)		
歳入	その他	4,677
歳出	農林費 排水機場整備事業	4,677

表 5 補正予算		(千円)
44号 平成30年度美唄市国民健康保険会計補正予算(第1号)		
補正総額 8 6 4(千円)		
歳入	一般財源	864
歳出	諸支出金 過年度精算金	864

明書の提出の件
報告第13号 繰越明許費繰
越計算書の件(美唄市一般会
計)
報告第14号 継続費繰越計

算書の件(美唄市一般会計)
報告第15号 継続費繰越計
算書の件(市立美唄病院事業
会計)

承認第5号 専決処分 of 承認を求める件(財政調整基金使用の件)(表1)
承認第6号 専決処分 of 承認を求める件(平成29年度美唄市一般会計補正予算(第10号))(表2)
承認第7号 専決処分 of 承認を求める件(美唄市税条例等の一部を改正する条例)第35・37・38号 総務・文教委員会
第36号 美唄市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正の件
第39・40・42号 産業・厚生委員会
第41号 美唄市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正の件
第43号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第1号)
(表3)
第46号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第2号)
(表4)
第44号 平成30年度美唄市国民健康保険会計補正予算(第1号)(表5)
第45号 美唄市固定資産評価員選任の件

陳情第1号 「美唄市立地適正化計画」に関する陳情
陳情第2号 「市立美唄病院更新事業(建替え)計画」に関する陳情

市議会の動き

6月
8日 議会運営委員会
12日 第2回定例会開会
15日 一般質問
18日 議会運営委員会
19日 一般質問
20日 常任委員会
21日 予算審査特別委員会
22日 議会運営委員会
27日 本会議(追加上程)
21日 地域医療体制等調査特別委員会
22日 第2回定例会開会
27日 議会運営委員会
7月
4日 広報委員会
9日 地域医療体制等調査特別委員会
11日 広報委員会
11日 広報委員会

編集後記

第2回定例会の市議会だより編集にあたっては、7月上旬現在、西日本ではこれまでにない大雨により甚大な被害が出ています。

本市も、やはりこれまでにない気象条件の中で3月上旬に融雪と降雨による水害が各地で発生しました。

災害に対しては個人での備えや対応も必要ですが、まずは行政の災害対策体制の強化が求められている所です。これまでの方や考え方にとられない災害対策を求めていかなくてはなりません。

(け)

広報委員会
委員長 谷村知重
副委員長 松山教宗
委員 楠 徹也
委員 吉岡建二郎

お知らせ

本会議、委員会、などたでも傍聴できます。平成30年第3回定例会は、9月上旬の予定です。日程など詳しくは議会事務局(電話63-0141)にお問い合わせ下さい。